

## 第4節 網類及び綱類の保存とその状態について

### 1、網 類

網具類はウインチモッコも含めて、すべて網蔵の一階部分に保存され、修理用網及網作成用の原材料は二階部分に收容されている。網蔵は虫害を防ぐため、二重土台造りとなっているため虫害は見られず、また保存する各網の床に接する部分には湿気を防ぐため、使用済みの揚げ網が厚く敷き込まれ、保存の状況は極めて良好である。

#### 1) 軀網類

ニシン漁用として大網及中網各1があり、各網とも羽交うことにより直ちに使用可能と見られる。各軀網はアバ(浮子)棚は外して、別途保管し、大網は8分割、中網は6分割し、アバ棚を付すことによって完成(使用できる)するよう配慮されている。

夏網及小網は、浮子(アバ棚)を付したまま、夏網は取扱いを容易にするため2分割した状況で保管されている。尚、予備品と見られる大網・中網の建揚網及口前網(切り落し式)各1がある。

#### 2) 手網類

手網の内直ちに使用できるよう浮子・沈子を付して保管されているものは12枚を数える。実子網手網を7脇から使用すれば2ヶ統分であり、3脇から使用する場合大網・中網・小網・夏網の何れもが投網できることになる。尚、大網の三角網は1脇に結合されている。浮子・沈子を結付しない手網が8枚あり(内1枚のみ沈子付)、各網の予備手網を準備されているものと推察される。

#### 3) 枠網類

枠網は前垂式枠網の2点のみが綿網で、その他の枠網はすべて金引麻網(越後麻)で、前垂式8枚・さしわ式2枚は何れも舳・胴・臙に3分割、吠式枠網のみが2分割して保存され、結合するための羽交網(岩糸6枚苧)が添付されている。吠式枠網を除く夫々の枠網には大廻し・手ぼ・筋糸が取り付けられ、羽交することにより直ちに使用できる状態である。

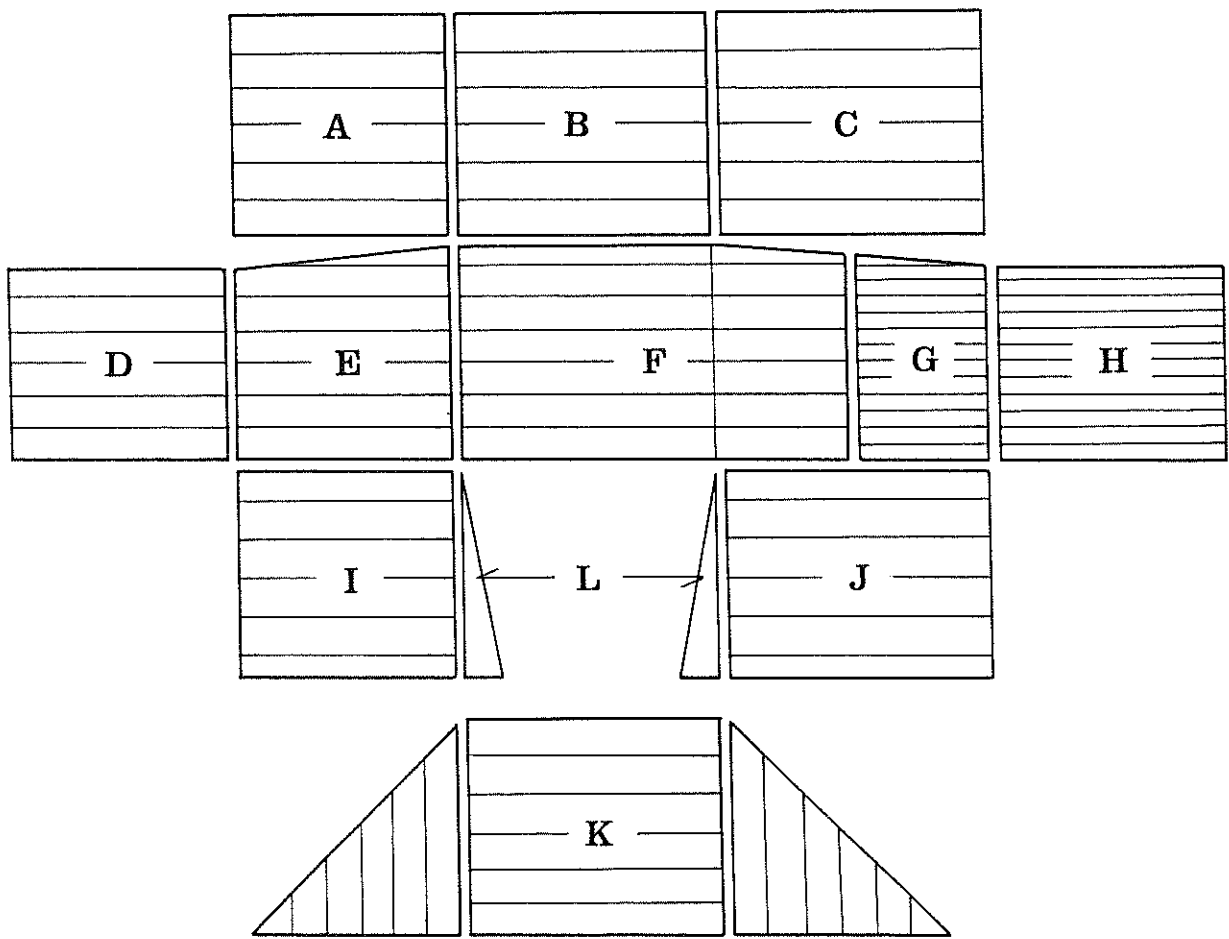
#### 4) ウインチ用モッコ及小袋網

ウインチ用モッコ10枚及小袋網1枚があり、夫々完成した状態で保存されている。

#### 5) 古網及補修用網・原料用網地

揚げ網と見られる古網は、網類保存のための一部敷き込みに使用され、他は大補修用の材料として保存されているものと推察される。保有数は、手網古網10点、軀網古網3点、枠網古網16点である。

補修用及原料網地として保存されているものは、軀網地9点(内原網4点、計320m)、枠網地26点(内原網9点、計130m)がある。

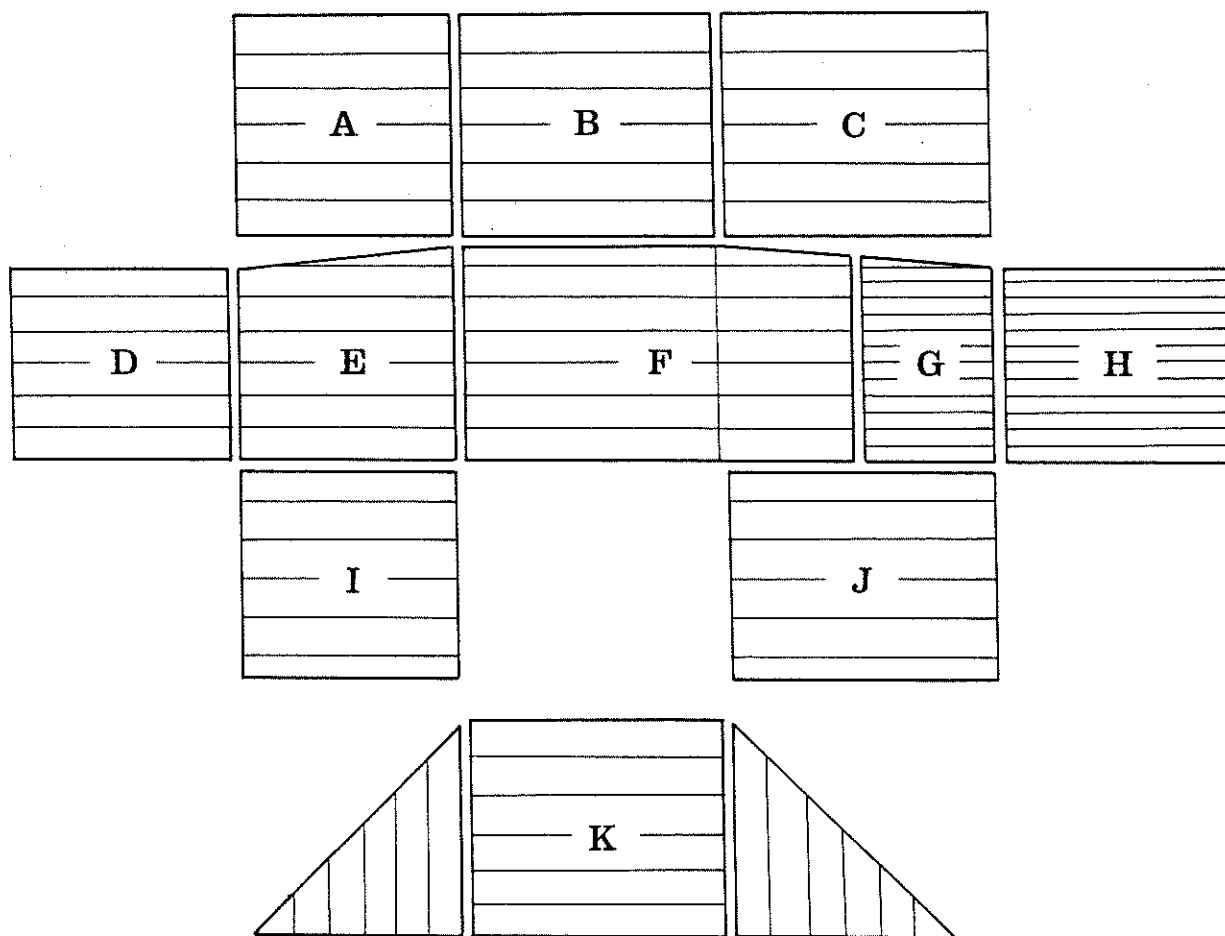


第61図 因佐賀家漁場ニシン角網（昭和16年大網）各部の名称、使用網地と寸法

表13 因佐賀家漁場ニシン角網（昭和16年大網）各部の名称、使用網地と寸法

大網 34間×10間 9尋（9間）建（註：1間＝5尺＝約1500mm）

	名称又は呼称	寸法	使用網地	備考
A	シリシドウ オキ カベアミ シモ オキガワ アミ	横縫横目 9間×11間	綿 7号8節	
B	ナカ クルワ ツキ ツキ オキ ノ ガワアミ	横縫横目 9間×11間	綿 7号8節	
C	カミシドウ オキ カベアミ コジタ オキ ガワアミ	横縫横目 12間×9間	綿 7号8節	
D	シリシドウ タテアゲアミ シモ ノ タテアゲアミ	横縫縦目 10間×9間	綿 13号8節	
E	シリシドウ シキアミ シモ ノ シキアミ	横縫縦目 10間×12間	綿 10号3寸目	
F	ナカ ロウ シキアミ ナカ ノ シキアミ	横縫縦目 12間×17間	綿 10号3寸目	さしわ 1反
G	コジタ シキアミ コジタアミ 又は セメ	横縫縦目 5間×12間	綿 13号8節	
H	ウオトリ タテアゲアミ タテアゲアミ	横縫縦目 50目掛12反	越後金引麻 8節	
I	シリシドウ オカ カベアミ シモ オカ ガワアミ	横縫横目 9間×10間	綿 7号8節	
J	カミシドウ オカ カベアミ コジタ オカ ガワアミ	横縫横目 11間×9間	綿 7号8節	
K	マエダレ アミ クチマエ アミ	中央～横縫横目 さしわ～縦縫縦目	綿 10号3寸目	切落し 式
L	クチマエ ソデアミ ソデアミ 又は ミミ	横縫縦目 反巾斜切 9間	綿 7号8節	



第62図 因佐賀家漁場ニシン角網（昭和16年中網）各部の名称、使用網地と寸法

表14 因佐賀家漁場ニシン角網（昭和16年中網）各部の名称、使用網地と寸法

中網 34間×8間 8尋（8間）建 （註：1間＝5尺＝約1500mm）

	名称又は呼称	寸法	使用網地	備考
A	シリシドウ オキ カベアミ シモ オキガワ アミ	横縫横目 12間×8間	綿 7号8節	
B	ナカ クルワ ツキ ツキ オキ ノ ガワアミ	横縫横目 10間×8間	綿 7号8節	
C	カミシドウ オキ カベアミ コジタ オキ ガワアミ	横縫横目 12間×8間	綿 7号8節	
D	シリシドウ タテアゲアミ シモ ノ タテアゲアミ	横縫縦目 8間×8間	綿 13号8節	
E	シリシドウ シキアミ シモ ノ シキアミ	横縫縦目 12間×11間	綿 10号3寸目	さしわ 1反
F	ナカ ロウ シキアミ ナカ ノ シキアミ	横縫縦目 12間×17間	綿 10号3寸目	
G	コジタ シキアミ コジタアミ 又は セメ	横縫縦目 4間×12間	綿 13号8節	
H	ウオトリ タテアゲアミ タテアゲアミ	横縫縦目 50目掛12反	越後金引麻 8節	
I	シリシドウ オカ カベアミ シモ オカ ガワアミ	横縫横目 11間×8間	綿 7号8節	
J	カミシドウ オカ カベアミ コジタ オカ ガワアミ	横縫横目 11間×8間	綿 7号8節	
K	マエダレ アミ クチマエ アミ	中央～横縫横目 さしわ～縦縫縦目	綿 10号3寸目	

#### 6) その他網作成用材料

給理苧・縁網用・タモ網用・羽交用・カラミ苧・アバ付苧・耳苧、その他の材料と推定される岩糸、及び綿糸・越後麻糸・トワインなどが保管されている。

#### 2、網 類

根網を除く網類はすべてトタン倉の二階部分に小丸太材を取り付け、これに掛けた状態で保管し、縁網・八百も同様に保管されている。

軀網アバ棚は浮子を結付した状態で、大網・中網夫々の分があり、口前棚網をはじめ各種手ぼ網類・掛網他網類は、概ね大網及中網の2ヶ統分が保存されている。

根網用のものと思われる藁網2丸の他、手網足棚用のアバ縄2丸が保存されている。

根網の一度使用したものは前浜の廊下の壁に桁を結び、これに沈子の鉄環を結付した状態で保管されていたが、今回の調査時に取外し計測の上、トタン倉に移し保管した。

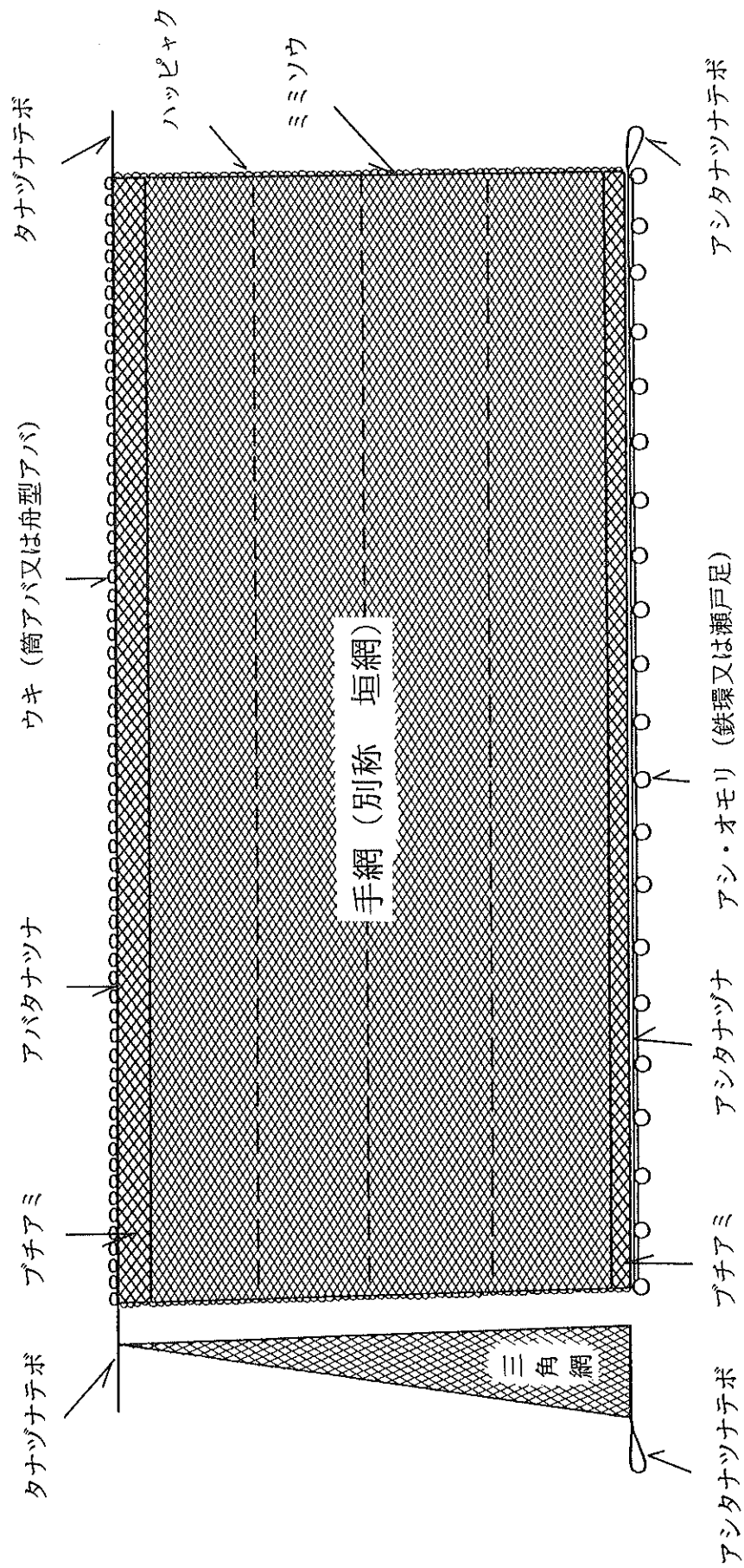
#### 3、その他

網付属の浮具類（アバ・ガラス玉・ワッカソベ等）及沈子類はトタン倉一階部分に収納した。

(運上 光彦)

# 手網（別称 垣網）及び三角網

三角網は手網1脇にのみ結付する



第63図 手網及び三角網の構造

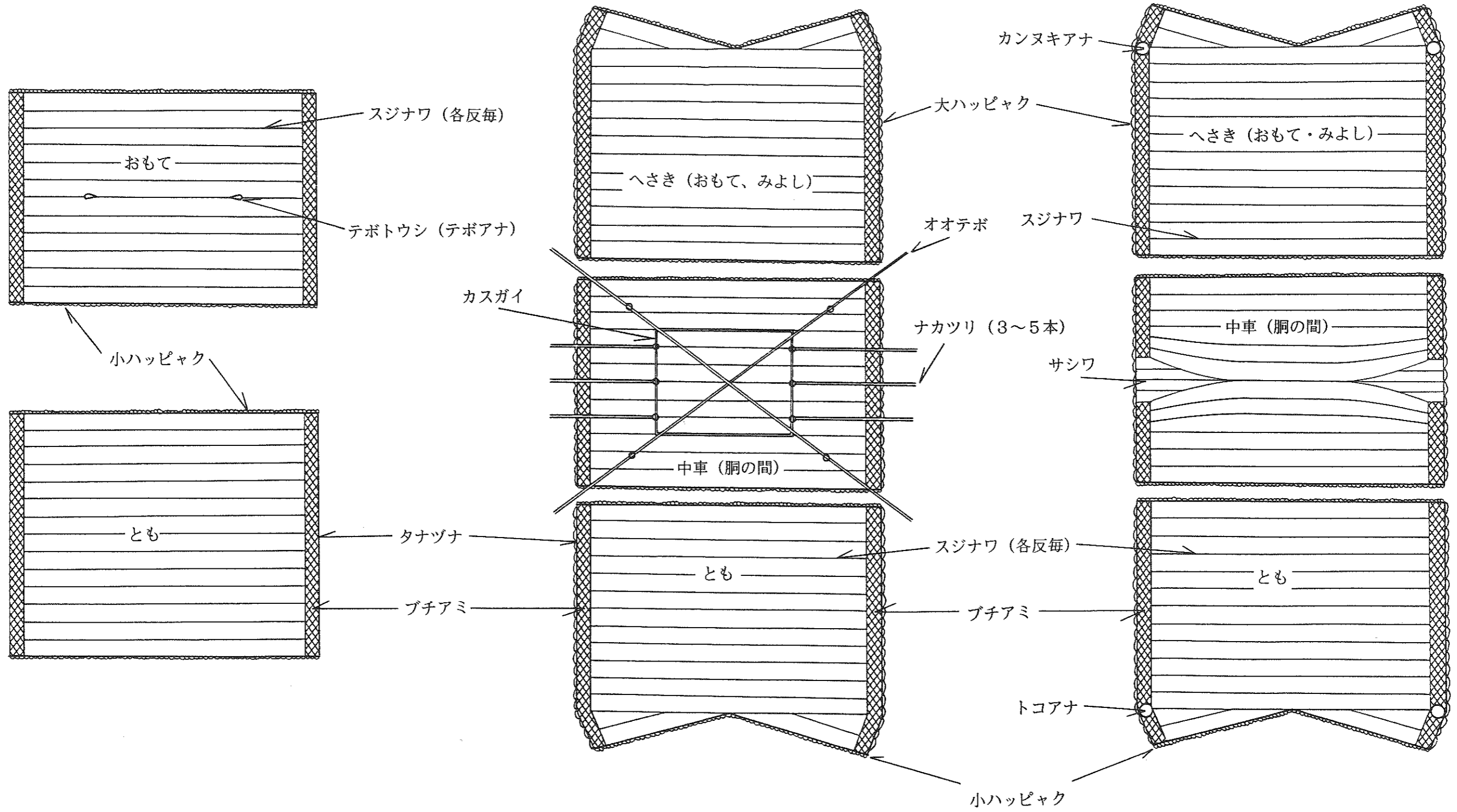




凧式枠網

前垂式枠網

さしわ式枠網



第64図 枠網の構造